

第 21 回 若手企画シンポジウム (2022.9.12 開催)

「未来を担う研究者のためのシンポジウム～若手研究者が語る繁殖学の未来～」 アンケート集計結果 (抜粋)

若手奨励策検討委員会

参加者数：48 名 (オンライン参加 40 名、現地会場 8 名、委員会メンバーを含む)
アンケート回答者数 (回答率)：18 名 (37.5%)

● 講演の長さ (講演 10 分程度、質疑 5 分程度) について

- ・短い : 2 (12.5%)
- ・ちょうど良い : 32 (75.0%)
- ・長い : 2 (12.5%)

● 講師の人数 (6 名) について

- ・少ない : 0 (0.0%)
- ・ちょうど良い : 15 (88.2%)
- ・多い : 2 (12.5%)

● 今後の企画 ではどのような話題を希望しますか (複数回答可)。

- ・ 今回のようなシンポジウム (若手からの話題提供) : 12 (70.6%)
- ・ ベテラン研究者からの話題提供 : 2 (11.8%)
- ・ 進路や就職に関する話題提供 : 9 (52.9%)
- ・ 海外留学に関する話題 : 9 (52.9%)
- ・ 論文執筆・研究費獲得に関する話題 : 5 (29.4%)
- (その他)
- ・ 研究者の結婚事情 : 1 (5.9%)
- ・ 研究計画の立て方、発表資料のまとめ方、研究ノートの書き方、研究データのまとめ方 : 1 (5.9%)

● その他、ご意見・ご要望がありましたらご自由に記述いただくと幸いです。

- ・ 企業就職組 vs ポスドク組のディスカッションを見てみたいです。
- ・ 最後まで先生方のお話をお聞きすることができ、大変貴重な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。途中で会がお開きになってしまい、きちんとご挨拶が

できませんでしたが、この場を借りて感謝申し上げます。また次回の企画も楽しみにしております。

・SRDの異なる分野で研究している若手がそれぞれの立場から、自分達の研究をどう社会に活かしていきたいか、活かすべきかという点について、もっと多くの意見を聞きたいです。

・途中参加・途中退出したため、全て視聴できなかったのが悔やまれます。大変お疲れさまでした。

★講演者の先生方へのコメントをぜひお願いします。

→こちらのご回答は、フィードバックとして演者の先生方へお伝えいたしました。